

# 4K バス・コンプレッサー

## ラージ・フォーマット・コンソール・ダイナミクス

SSL 4000は他のコンソールよりもプラチナ・レコードの影に存在していることで有名です。UAD 4Kバス・コンプレッサーはそのヒット曲の栄光を支えている4000シリーズのコンソール・ダイナミクスを再現しています。

シンプルなコントロール類と素晴らしくクリアなコンプレッション・キャラクターを持ち、UAは厳格な正確さでこのレコード・プロダクション・ツールの特徴を捕えました。UAD 4Kバス・コンプレッサーは4000G+の回路エミュレーションになり、UAD 4Kチャンネル・ストリップの姉妹プラグインです。

UAD4Kバス・コンプレッサーのシンプルなコントロール・セットは、オート・リリースと、固定(選択制)のアタック、リリース・コントロールから成り立っており、それは入力されるプログラムに反応を依存します。3つの固定レシオは10:1、4:1と2:1です。切れ目のないスレッショルド・コントロールとメイクアップ・ゲインはコンプレッサー・バイパスとともにこの機種の特徴です。

## 4K バス・コンプレッサー スクリーンショット



4K バス・コンプレッサー・ウィンドウ

## 4K バス・コンプレッサー・コントロール



### スレッシュヨルド

スレッシュヨルドはコンプレッションを始めるシグナル・レベルを設定します。このレベルを上回るシグナルはコンプレッションがかかり、下回るシグナルはエフェクトの影響を受けません。コントロール・レンジは±15dBです。

スレッシュヨルドが低い値になり、より多くのコンプレッションが行われると、多くの場合出力が下がります。必要に応じてメイクアップ・コントロールを使用して出力音量を調節してください。

### メイクアップ

メイクアップは、プラグインから信号を出力するレベルを0dB～+15dBの範囲でコントロールします。一般的に望ましいコンプレッションの量がスレッシュヨルドとレシオによって調節したあとにメイクアップの調整を行ってください。メイクアップはコンプレッションの量に影響を与えません。

### アタック

アタックはコンプレッションが行われる前に、入力された信号がスレッシュヨルドで設定したレベルに達してからコンプレッションが行われるまでの時間を設定します。アタックの値が速いほどコンプレッションが行われるタイミングが早くなります。選択可能なアタック・タイムは、0.1msec、0.3msec、1msec、3msec、10msecと30msecです。

(他のコンプレッサーと比べて)比較的に遅いアタック・タイムの有用性は、大きなコンソールのVCAスタイル・コンプレッサーでポピュラーなサウンドを提供します。

### リリース

リリースは入力された信号がスレッシュヨルド・レベルを下回った場合、コンプレッション効果が終了するまでの時間の長さを設定します。長いリリースタイムを設定する場合には滑らかな効果を得られ、それは頻繁にピークを越える音源に対して効果的です。しかしリリース時間が長すぎた場合、音量の大きい部分によって起こるゲイン・リダクションがそれ以降の部分にも影響し、小さい音量のレベルをさらに下げってしまうかもしれません。

設定可能なリリースタイムは100msec、300msec、600msec、1.2secとオートです。

4Kバス・コンプレッサーのオート・リリースの特徴は入力されるプログラムの質に応じてリリースタイムを最適化させる独特のクオリティを持っています。

## レシオ

レシオはコンプレッサーで処理する圧縮量を設定します。

例えば、20dBで入力された信号を10dBにまで下げるにはツマミを2の位置にすると入力値は半分になります。(圧縮比率は2:1)

設定可能なレシオ値は2:1、4:1と10:1です。



## パワー (IN)

パワー・ボタンはプラグインが動作中かどうかを決定し、表します。プロセッサーを無効にするにはパワー・ボタンをクリックしてください。パワーはエフェクトによって処理された音と、元の音を比較する場合に役立ちます。

## ゲイン・リダクション・メーター

ゲイン・リダクション・VUスタイル・メーターはコンプレッサーで処理されているゲイン・リダクション量を表示します。より高い値は多くのゲイン・リダクションを示します。プラグインの信号レベルを上げたり、またはゲイン・リダクションを増やすにはスレッシュホールドの値を下げてください。



※UAD、UAD-1、UAD-2とUAD 4Kはユニバーサル・オーディオ社の登録商標です。他のすべての名前はソリッド・ステート・ロジックの商標です。そしてそれはUniversal Audioと関連しない、または提携していません。

他のメーカーのこれらの商標はUAD 4Kのサウンドの研究開発を行うために回路やサウンドの特定ののために使用されました。

サードパーティの商標は情報の目的のみであってUniversal Audioのスポンサーシップやエンドースを意味するものではありません。